

【大阪】大阪銀行協会は7月3日、「顧客本位の地域金融～持続可能なビジ

評価の実務的な取り組み方、事業性評価に基づく融資や本業支援の具体的事例が

ネスモデル構築に向けて～」をテーマにセミナーを開催。講師は1月から金融庁参与に就任した日本動産鑑定の森敏彦会長が務めた。25機

大銀協
事業性評価セミナー



持続可能なビジネスモデル構築をテーマに講演する森氏（7月3日、大阪銀行協会）

関53人が参加。最新の中小企業金融と金融行政のポイントを整理し説明。事業性

を顧客への感謝を示す月間として社員銀行の活動の一助につなげている。

紹介された。

同協会は、2018年度に25回のセミナーを開催。今回のセミナーでは、7月1日の「銀行の日」の趣旨と意義を説明。7月